

リポート トピックス

議員として、議会内外で「議会活動」と「地域活動」を行ったことにより実現・解決した市民要望や市政課題、あるいは市内外の組織・団体への役員就任など、様々な話題(トピックス)があります。ここではその内容についてお知らせします。

課題、要望の解決・実現

○道路、側溝改修

消雪施設の効果改善、排水機能確保のため、内免地内道路の掘削・側溝改修工事を実施



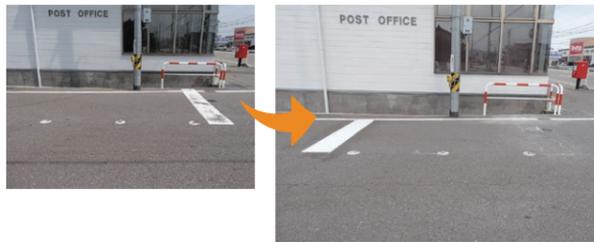
○交差点改良、側溝改修

交通安全対策のため、四屋一内免境界地内交差点の隅切り、側溝改修工事により交差点改良及び市道を拡幅



○交差点停止線位置の見直し

交通安全対策のため、美幸町地内交差点の停止線位置を見直し



○カーブミラーの新設

交通安全対策のため、四屋地内の交差点にカーブミラーを新設



○その他

西条区内等での環境衛生問題への対応やカーブミラー修繕等

役員就任

○「自由民主党富山県支部連合会」遊説局次長

本年6月の定期大会にて遊説局次長に就任。

○「自由民主党富山県支部連合会青年局・部」青年部長

本年6月の定期総会にて35歳以下で組織する青年部長に就任。

横田せいじ プロフィール

[自己紹介] ○生年月日 昭和55年5月13日(35歳)
高岡市内免生まれ、美幸町在住
○趣味特技 野球、空手、登山、スキー・スノーボード、読書

[経歴] ○川原小学校、高岡西部中学校、高岡第一高等学校、富山県立大学工学部卒業
○平成15年 高岡市役所入庁
『都市計画課(地域交通担当)』で、万葉線やコミュニティバスなどの公共交通政策に、『総務課(危機管理室)』で、防災や国民保護などの危機管理政策及び選挙業務に、『財政課(資金、財政・調査担当)』で、予算編成や起債、決算分析などの財政政策に携わる
○平成24年 高岡市役所退職
○平成25年 高岡市議会議員(初当選)

[市議会等での役職] ○議会運営委員会 委員
○民生病院常任委員会 委員
○新幹線・公共交通対策特別委員会 委員
○高岡地区広域圏事務組合 議員
○交通安全対策委員会 委員
○会派「自民同志会」総務広報局 幹事

[現役職資格等] ○富山県飲食業生活衛生同業組合高岡支部顧問
○高岡市スキー連盟副会長 ○高岡市相撲連盟副会長
○高岡市消防団和田分団員 ○高岡商工会議所青年部員
○公益社団法人高岡青年会議所会員 ○高岡カラコムクラブ会員
○西条スポーツ少年団育成会副会長
○西条スポーツ少年団育成会野球部指導者
○西条校区青少年補導委員会顧問
○国条橋運動広場管理協会事務局長
○国条橋パークゴルフクラブ参与
○美幸町自治会総務、美幸町青年部員
○美幸町高齢者見守り隊事務局長兼会計
○内免神明町獅子舞保存会員
○高岡第一高等学校第38回生同窓会長
○国際空手道連盟極真会館初段、審判資格
○財団法人日本体育協会公認スポーツリーダー・スポーツ少年団認定員
○自由民主党富山県支部連合会青年部長
○自由民主党高岡市連合支部青年局事務局長

発行 高岡市議会自民同志会
編集 高岡市議会議員 **横田せいじ** 〒933-0954 高岡市美幸町1-2-55
TEL(0766)25-4017 FAX(0766)25-4007
E-mail office@yokotaseiji.net HP http://www.yokotaseiji.net/
FB http://www.facebook.com/yokotaseijikouenkai/

横田せいじ 検索

[高岡市議会議員]

横田の政治りぽーと

せいじ SEIJI's REPORT

2015年秋
第4号

Challenge your future!



(写真左)平成27年9月6日 広場の草刈り等、創設時から携わってきた「国条橋パークゴルフクラブ」創立10周年記念祝賀会 (右上)同6月7日 千保川清掃 (右下)同8月10日 警察署へ要望書提出

任期開始から2年、折り返しへ。
さらに活発に活動してまいります!

ごあいさつ

清秋の候、地域の皆さまにおかれましては、益々ご健勝のこととお喜び申し上げます。

北陸新幹線開業に沸いた春、そしてレスリング世界選手権大会での登坂選手の3連覇を始め、高岡商業高校の甲子園出場、世界相撲選手権及び同ジュニア女子大会での黒川・紅谷両選手の個人戦や団体戦での優勝など、高岡にゆかりのある選手の大活躍があり、スポーツで大いに盛り上がった夏を過ぎ、今年度も半分が経過しました。

振り返ってみれば今年の夏も非常に暑い日が多く、総務省消防庁によると、熱中症で救急搬送された方は5月19日から9月6日までの前年比較で133%、平成27年4月27日から9月6日までの合計速報値では、死亡者104名を含む55,211人の方が救急搬送されています。

また、9月9日から11日にかけて、茨城県や栃木県、それに宮城県など関東や東北で大きな被害が出た「平成27年9月関東・東北豪雨」。これは台風18号の影響によるものとされていますが、地球温暖化の影響で雨の降り方が変化していると指

摘する報道もあり、今回の被害を除いたとしても近年は局地的豪雨による被害が各地で発生しております。

猛暑に豪雨。これら異常とも言える自然現象に向き合う中で、やはり私たちが目指さなければならないのは、低炭素・循環型社会の構築であり、これをしっかりと推進し、次の世代に綺麗な形でバトンを渡していかなければとの思いをさらに強めています。

なお、私にとりましては、この11月20日をもって高岡市議会議員の任期開始から丸2年を迎え、折り返しとなります。これまで地域課題の解決等を図りつつ、地域や現在のみならず、市全体や未来に資するための政策提言を本会議場の場などで行ってきました。

しかしながら、「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」の実現はまだ道半ばであります。残り2年間でどこまでこれを前進させられるのか、スポーツマンに倣い、自分への甘さ・弱い心を排し、全力で取り組むこととお誓いし、併せてこれから寒い冬の季節を迎えるに当たり、皆さま方が益々ご健康でご多幸でありますことをご祈念申し上げご挨拶とします。

横田誠二

1 リポート 議会活動

高岡市議会は年4回定例会を開催しており、全議員には提出された議案や市政一般に対して質問できる権利が与えられています。この権利をしっかりと使い、各定例会で質問に立ちました。ここではその内容についてお知らせします。(詳細は横田せいじ公式HPに掲載)

私はこう考える①
～地方創生元年にあたり～
 本年は、新幹線開業後の新たなまちづくりを進める年であり、全国各自治体において地方版総合戦略の策定・実施が開始される「地方創生元年」です。今定例会ではこのことを踏まえ、大きく4項目に渡り質問しました。

平成27年6月定例会

【地方創生について】

Q 他市との差別化、イメージ戦略の一環として、先進自治体にならって市のキャッチコピー制定やロゴの作成を行うては。また、様々な手法でそのPRに努めては。

A 高岡の知名度向上や都市イメージを発信するための効果的な手法について、キャッチコピーの制定やロゴマークの作成なども含め研究していきたい。

【2次交通の充実について】

Q 昨年9月に万葉線等へのICカード導入について伺い、今年度当初に予算措置され鋭意進められているものと思う。そこで、万葉線へのICカード導入に向けた現在の進捗状況、今後の見通しは。

A 4月末の「JR西日本グループ中期経営計画2017」の中でIC車載器導入の検討が明記され、「ICOCA」について導入の可能性が拡がることとなった。
 万葉線(株)では、国の動向を注視するとともに、JR西日本における車載器の検討の動き等も見据えながら検討していくと伺っている。

Q 平成15年の新型車両「アイトラム」導入から10年以上経過し、下地が見えるぐらい剥げるなどしている。万葉線のインフラ施設及び車両の修繕や更新の複数年に渡る年次計画の策定が必要と考えるが、見解は。

A 今年度からアイトラムの塗装補修等、車両外装のリフレッシュを計画的に進めて行く方針と仄聞している。また、施設系の整備に関しては、平成21年度策定の「万葉線活性化総合連携計画」を基に、重軌条化工事等に計画的に取り組んでいる。今後も、県、射水市とともに万葉線(株)を支援していく。



万葉線新型車両「アイトラム」

【行財政改革について】

Q 高岡市行財政改革推進方針には「ペーパーレス化」が記載されているが、例えば一般会計の印刷製本費決算額を見ると、平成21年が1億2千3百万、25年が1億9百万

円とほとんど減っていない。ペーパーレス化は事務効率改善、地球環境保全、経費節減に繋がる。市内部業務のペーパーレス化を推進しては。

A 内部業務等では、原本保管や情報伝達の確実性等からも依然として紙資料が多く使用されているが、職員に対してはこれまで以上に経費節減を常に意識し、ペーパーレス化への工夫に取り組むよう改めて徹底していきたい。

Q 事務効率向上、経費節減に繋がると考えられる電子決裁の導入に積極的に取り組んでは。

A 全ての決裁を電子化することは困難であると考え、新たな文書管理の制度設計を行うにあたり、業務の内容を踏まえ、調査・研究してまいりたい。

Q 平成22年度実施の「全事業総点検プロジェクト」を受けた市方針発表から来年2月で丸5年経過することになる。そこで、「検討継続」や「現行どおり」の方針が示された事業を中心に、当時の対象事業について再度検証を行うとともに、同点検以降新たに実施された事業についても検証を行っては。

A 第1次行財政改革アクションプランで、前年度当初事業数の10%相当の整理・合理化を行うこととし、実行してきた。今年度からスタートした第2次の同計画でも同様の取り組みを5年間継続することとしている。
 このような取り組みにより、限られた財源を有効に活用し、複雑・多様化する市民ニーズに的確に対応できるよう今後も検証を進めていきたい。

私はこう考える②
～多くの課題に触れ～
 多くの団体に関わり、積極的に地域に飛び出して活動する中で、様々なご意見を聞き、市政課題に触れる機会がある。今定例会ではそうした点を踏まえ、大きく4項目に渡り質問しました。

平成27年9月定例会

【日本の伝統文化について】

Q 私が小学生のころ、ほとんどの学校に相撲場があり、各学校が出場する相撲大会が行われていたと記憶しているが、近年は老朽化で各校の相撲場が取り壊されている。そこで、現在、小学校に相撲場が設置されている学校の数は。

A 市内26小学校のうち、このたび竣工した福岡相撲場を含めると12校。福岡を除けば、昭和50年代から60年代にかけて設置されたものがほとんど。



第88回富山県青年相撲選手権大会等

Q 本年も県青年相撲選手権大会が高岡市民体育館で開催されたが、市民体育館改築に向けての相撲場の整備方針は。市内各小学校の相撲場が取り壊されていることや、本市出身者が国内外で活躍していることを考えれば、拠点的な位置づけにするといいことも考えられるが、そうしたことも踏まえ市の考えを。

A 同大会については、今後も途切れることなく本市の伝統行事として開催していきたいと考えている。新たな総合体育館においては、相撲をはじめ、様々な大会が実施できるよう充分検討していきたい。

【医療・介護サービスの安定的な提供について】

Q 市内の老健施設や中小病院で、看護師の高齢化や人員不足に悩む声が聞かれるが、見解は。

A 県が公表している第8次看護職員需給見通しでは、平成28年末で543人の不足が見込まれている。
 市内の老人保健施設等においては、施設の配置基準を満たす最低限の看護職員は確保されているものの、安定的に運営上必要としている看護職員は十分に満たされておらず、看護人材の確保は大変厳しい状況にあると認識している。

Q 富山市に設置される4年制看護学部との差別化、中小病院や老健施設などの医療・介護現場に必要な人材の育成等のため、「(仮称)富山県高岡看護専門学校」に准看護師の育成枠を設けては。

2 リポート 地域活動

議員活動は、「議会内」と「議会外」での活動に大きく分けられます。「高岡の活性化」と「住み良い地域づくり」実現のため、議会外でも様々な活動を行っています。ここではその内容についてお知らせします。



H27 5/8 JR西本社にて新幹線速達型の新高岡駅停車延長要望。他JR西金沢支社、前日の国交省含め2日間に渡り要望



H27 6/5 まちづくりの調査研究を行う県立大学生の取材対応



H27 6/25 第2回富山の文化財「獅子舞」の保存継承・活用に係る意見交換会



H27 7/24 国交省鉄道局にて。国交省、JR東本社へ新幹線速達型の新高岡駅停車延長、大阪方面早期延伸要望



H27 7/8 富山国際大にて。自民党富山県連青年局と学生グループとの意見交換会。この他、富山大・県立大・高岡法科大でも実施。



H27 7/11 (公社)日本青年会議所北陸信越地区協議会地区フォーラム2015in小矢部。スタッフとして参画。



H27 7/12 第7回北陸信越空手道選手権大会等



H27 7/27 東京証券取引所にて。自民党高岡市連青年局・部役員中央視察研修会



H27 8/16 (公社)高岡青年会議所 2016年度役員にて市長表敬、意見交換



H27 8/24 北島牧野作道線整備に係る関係者協議



H27 8/25 大阪府堺市での「第20回記念世界相撲選手権大会」にて。個人戦男子無差別級優勝の黒川選手(高岡市出身)と。



H27 8/30 大阪府堺市での「第20回記念世界相撲選手権大会」にて。個人戦男子無差別級優勝の黒川選手(高岡市出身)と。

←第88回富山県青年相撲選手権大会等。土俵の設置撤去を含め2日間に渡り参画。